日々想々

土地を見てイメージする

鈴木 茂基

土地を見て、いろいろなことをイメージする。

そんな仕事をしている。

もちろん、その地域の社会、経済、産業、歴史、文化、自然、土地利用の規制などを調べた上で想像する。

いろいろな用途に利用されているイメージ、いろいろな建物が建っているイメージ、大規模に開発されたイメージ、新しい道路が開通したイメージ、まちが賑わっているイメージ…想像に限りはない。

しかし、良い想像ばかりではない。

空き家が建ち並んでいるイメージ、耕作されず荒地になったイメージ、災害で崩れたイメージ…など悪い想像をすることもある。

かつて「土地神話」というのがあった。「土地の価格は必ず値上がりする。」「土地には絶対の価値がある。」というもの。

ところが、今では多くのまちで地価が下落し、利用価値や資産価値の乏しい土地が捨てられ始めている。

相続未登記や相続放棄などで所有者が不明となり、身寄りのない土地が増えている。

土地の終活をしている人もいる。

これまで想像できなかったことだ。

あまり知られていないようであるが、国は毎年10月を「土地月間」、10月1日を「土地の日」と定めている。

この時期には、国、地方公共団体、土地関係団体が協力して各地で講演会等を開催して、土地に関する基本理念の普及・啓発活動を展開している。

また、全国の地価調査が行われ、各地の地価やその動向が発表される。

ちなみに、土地について…歴史的建造物の立地という規定がある。

土地を見てイメージするときに気を付けているのがこの規定で、その中でも「文化的（・・・）諸条件に応じて…」に考えさせられる。

法律の解説では「土地は、その所在する地域の諸条件、すなわち…（略）…もちろん、自然環境を保全することも重要であり、この場合、土地利用の転換をせず、保全することも適正な利用にあたることになる。」とある。

「日本の伝統・文化」について、こんな論説を見つけた。

「衣食住という言葉があり、和装、和食という言葉があるのに〝和住〟という言葉が見当たらない。」

日本人の生活習慣の変化が、伝統的な和の住宅に暮らす人を少なくしてしまったということか…

残念な気持ちでいると、最近、暮らしの中に和の住まいの要素を取り込もうとする動きが出てきた。

国も文化庁、農林水産省、林野庁、経済産業省、国土交通省、観光庁が集まって「和の住まい推進関係省庁連絡会議」を組織して、和の住まいを推進している。

いつか和の住文化が見直されて「和住」という言葉が使われるようになるかもしれない。

9月に空き家再生プロジェクトの先駆的な活動をしている広島県尾道市を訪ねた。

瀬戸内海に面した「坂のまち」で、映画のロケ地にもなったところであるが、狭い路地を歩くと、あちこちに残された空き家が新しい主人が来るのを待っていた。

すでにリノベーション（改修）された建物も見られるが、まだ手つかずの古い建物も、専門家の説明を聞くと隠れた価値が見えてきて大切に思える。

廃屋のような建物も、アーティストが作品のように活用している。

ここでは空き家がいろいろな可能性を秘めた宝箱のようで、これを活用している人たちのイメージの豊かさに関心した。

坂を登り、見晴らしの良い高台からまちを眺めると、個人の家もみんなが共有する風景の一部になっていた。

そうか、ここに移り住んで来た人は、みんなこの風景を見て〝尾道らしい〟をイメージしているのか…。

○○○らしい建物、○○○らしい住まい、○○○らしいまちづくり…。

〝○○○らしい〟をイメージすることって大切だ。

（コクド鑑定・調査㈱代表取締役社長、不動産鑑定士、ヘリテージマネージャー）

交通事故ゼロ、飲酒運転0をめざし
盛大に交通安全県民大会
よしもとお笑い芸人が盛り上げ

年末の交通安全県民運動期間（12月1日～10日）中の8日（土）、津市安濃町のサンヒルズ安濃ハーモニーホールで平成30年度三重県交通安全県民大会が開催された。

題材にした話芸などで会場の笑いを誘い大会を盛り上げた。

むけた理解と関心を深めてもらう目的で三重県が主催。県内各地から300人が参加した。

三重県警察音楽隊のクリスマスソングのメドレー演奏で開会。よしもとお笑いコンビで三重県出身のオレンジと、愛知県出身のトラッシュスターが飲酒運転を高め、飲酒運転の根絶に

続いて交通安全と飲酒運転根絶に関する功労者表彰式があった。参加者全員で交通事故犠牲者に黙とうを捧げたのち鈴木英敬知事は、交通安全に取り組む関係団体や個人に感謝と受章者に祝意を表し、「年の瀬を向かえ交通事故防止になお一層の協力をお願いします」とあいさつした。フィナーレでは、参加者を代表して福山忠夫さん（三重県交通安全功労者表彰）が交通安全宣言を読み上げて閉会した。

受章は次の通り（敬称略）。

〈知事表彰〉三重県交通安全功労者表彰＝福山忠夫さん（津市）ほか7名と1団体▽飲酒運転根絶に関する功労者表彰＝（公社）三重断酒新生会

〈中部管区警察局長・中部交通安全協会協議会長連名表彰〉交通安全功労者表彰＝若林宏さん（亀山市）ほか13人▽優良運転者表彰＝新武則さん（伊勢市）ほか32人▽交通安全活動功労表彰＝（株）ADEKA三重工場（東員町）ほか1団体

〈（財）全日本交通安全協会長表彰交通栄誉章「緑十字銅章」〉交通安全功労者表彰＝岩本宗さん（熊野市）ほか57人▽優良運転者表彰は東出美由紀さん（伊賀市）他113人

〈（一財）三重県交通安全協会長表彰交通安全「俳句」「川柳」作品コンクール〉最優秀賞は田村米生さん（津市）ほか3人▽優秀賞＝柿本久喜さん（松阪市）ほか7人

「別所せれくしょん」24作品
書店員が選んだ「お薦め本」

昨年の模様

（株）別所書店（別所信啓代表取締役）は30日（日）～来年1月31日（木）、津駅店とイオン津店、修成店の市内3店舗で「別所せれくしょん～私だけに…2018～」を開催する。

3店舗に勤務する店員が消費者目線で選んだ「お薦め本」24作品を紹介する。読者から読者へお勧め本を紹介し合うビブリオバトル同様、確かな目利きの存在が「せれくしょん」の特長。人が直接コマーシャルに関わって本を融通し合う試み。

紹介するのは「同期」「ふたり　皇后美智子と石牟礼道子」「時をかけるゆとり」「図説英国の住宅」「死に山」「ほしとんで」など。いずれも本のプロフェッショナルが選んだ折り紙付きの作品ばかり。年末年始、お気に入りの本の世界に浸ってみては。

中日本ブロックが全国優勝
津ボーイズの2選手が活躍

公益財団法人日本少年野球連盟が8月25日・26日島根県安来市で開いた全国大会で、中日本ブロック選抜チームが小学生の部で優勝。12月9日（日）、「ラセーヌマリアージュ四日市（四日市市伊倉1―11―27）で「祝勝会と解団式」が開催された。

津市の津ボーイズ（津市白塚町、前出知也監督）からは選手2人が選抜されて活躍した。

萩来駆体選手（投手）と河内朋也選手（捕手）。

決勝トーナメント戦で中日本ブロックチームは四国選抜を11×0、決勝戦は東日本ブロックを3×2で下し優勝旗を手にした。

萩来選手は1回戦で2塁打を打ち、決勝戦ではさよならランナーになった。「相手の打球は速かった」と感想を話した。河内選手は「全国レベルは高かった。打撃、守備でも思い切り声を出すようにします」と全国大会を振り返った。

前出監督は「将来有望な選手が育っています。今後も、楽しみな選手を基礎からトレーニングしていきます」と話していた。

問合せは津ボーイズ足坂さん＝電話090（1414）4150。

ミツマタの森ミニ公園
伊勢地の伊勢本街道沿い
地域づくり委員会が造成

津市美杉町伊勢地地域づくり委員会は11月18日（日）、国道368号線（旧伊勢本街道）沿いの同町石名原の約204㎡（約62坪）の空き地にミツマタの苗76本（赤色14本含む）を植栽し「ミツマタの森ミニ公園」を造成した。

参加したのは同地区の男性10人と女性7人の17人。それぞれ、スコップ、ジョウレンを持ち、1本ずつ丁寧に植えた。

ミニ公園造成費用は公益社団法人三重県緑化推進協会の「平成30年度緑の募金交付事業」の支援を受けた。

ミツマタは低木の落葉樹で、3～4月に三つ叉に分かれた枝先に黄色い花を咲かせる。同地区には岸野隆夫さん所有の山林1・5ヘクタール（1万5千㎡）に群生地が育っている。皮は和紙の原料になる。

問合せは美杉総合支所地域振興課＝電話059（272）8080。